

【 第21回 女子ジュニア世界選手権 】

2018年6月29日～7月15日 開催地:ハンガリー

試合結果報告 7 月 10 日 (火)

JPN	VS	FRA(フランス)
13	前半	14
12	後半	15
25	合計	29

個人得点

名前	前半	後半	合計
3 高木 奈央			0
4 辻野 桃佳			0
26 榎 和奏			0
27 松浦 志織			0
28 並木 梨紗	4	4	8
29 大松澤 彩夏			0
31 鈴木 姫らら			0
32 金城 ありさ	2		2
33 安藤 かよこ	1	2	3
34 南 夏津美			0
35 中山 佳穂	5	4	9
36 相澤 菜月		1	1
37 舟久保 朱音			0
39 笠井 千香子	1	1	2
40 笠 泉里			0
41 金山 桃歌			0
42 尾辻 素乃子			0
51 吉留 有紀			0
	13	12	25

戦評

決勝トーナメント1回戦はヨーロッパ選手権優勝のフランスと対戦。立ち上がり、持ち味のフットワーク力でDFから速攻を支えてきた吉留が相手選手と接触し足首を負傷。フランスの力強いプレーを前に前半10分3-7と圧倒される。その後、フランスの力強さに対応してきた日本は、徐々に強みであるDFから速攻で得点していき、日本らしさがでてくる。この日力強いプレーを見せる並木、連日の強打が光る中山らの得点により前半29分13-13の同点に追いつき、ついに試合は振り出しに。フランスのラストプレー、このまま同点で終えたい日本だったが、パワフルなシュートを放つ左腕Blonboulに得点を許し1点ビハインドで後半戦へ。

後半立ち上がり、相手の力強いプレーに連続失点を許し、じわじわと差を広げられ、後半8分14-19に。なんとか食らいつきたい日本は、7人攻撃を選択。これが的中し、安藤、中山、並木の得点で後半15分20-21にまで詰め寄る。一気に逆転にまでもっていきたい日本だったが、力強く、かつ冷静なプレーをするフランスに王者の貫禄を見せつけられ、カーブ及ばず25-29で敗戦となった。

報告記入者 :

新井翔太